

科目名	評価実習【作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	青 山 宏・作業療法士教員全員						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	4	必修・選択	必 修（作業）
授業の概要 及びねらい	臨床実習指導者の指導・教育のもと、対象者に対する作業療法評価を中心とした実習を行う。対象者に応じた情報の収集、評価法の選択、検査・測定の実施、結果の記録、統合と解釈、対応課題の抽出までの一連の評価過程を体験することにより、評価技術の習得のみならず、問題解決を図る思考過程を学習する。学内セミナーでは、本実習の評価をもとにした初歩的な治療プログラムの作成方法を学ぶ。						
授 業 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者に対して、適切な態度で対応することができる。 2. 基本的な作業療法の情報収集、評価方法の選択ができる。 3. 基本的な作業療法の検査・測定を正しく実施することができる。 4. 得られた結果から対応課題を抽出し、初歩的な治療プログラムを立案できる。 5. 作業療法の基本的な記録をすることができる。 6. 症例報告の課題をまとめ、提出ができる。 7. 医療専門職として責任および節度のある態度と行動をとることができる。 						
学習方法	実習施設において実習指導者の指導のもと、対象者に対する作業療法評価を中心とした実習を行う。						
テキスト及 び参考書等	特に指定しない。						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他	実習指導者の評価、実習報告書、セミナーでの発表・討論を総合して評価する。						100
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
	<p>実習施設において実習指導者の指導のもと、対象者に対する作業療法評価を中心とした実習を行う。</p> <p>実習日時、実習施設、実習内容については改めてオリエンテーションを行う（実習期間は旧カリキュラム3週間、新カリキュラム4週間）。</p> <p>臨床実習後に学内において実習セミナーを開催し報告と討議を行う。</p>						
備 考	実習前後の予習、復習はしっかり行うこと。						